

USB メモリの使用

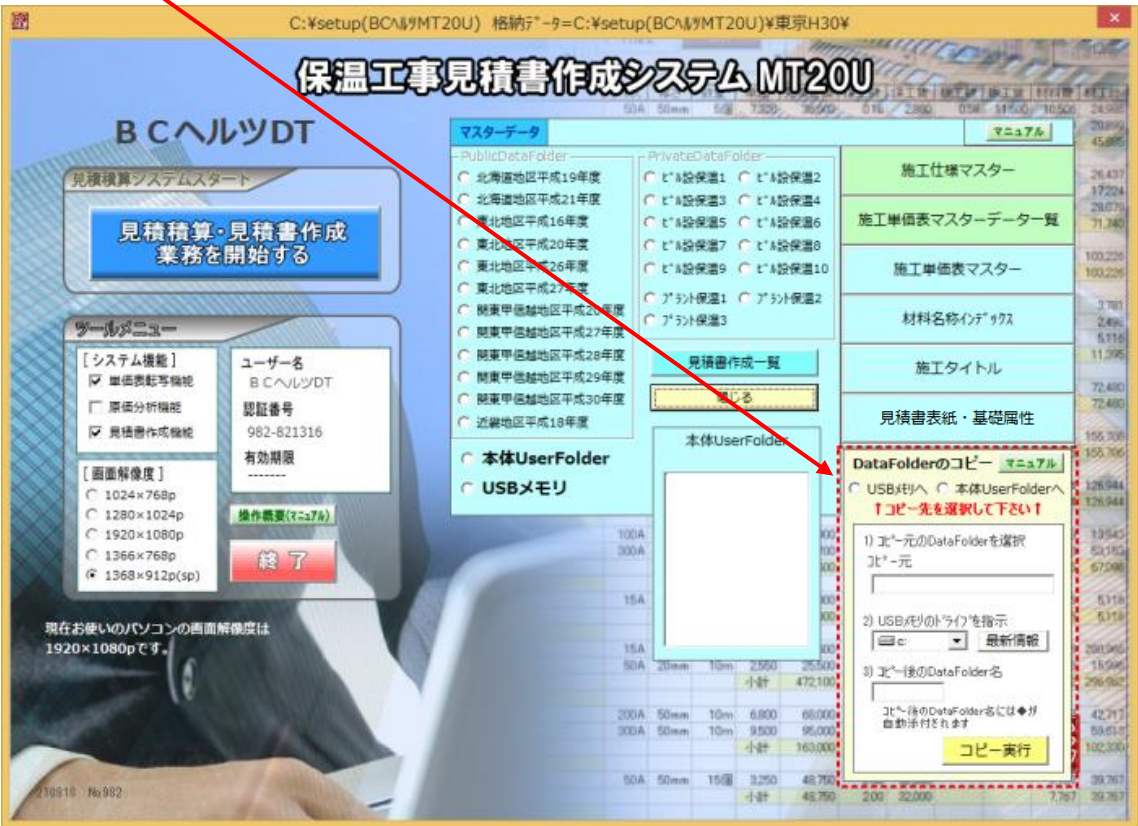
パソコン本体のマスターデータを USB メモリにコピーして使用ができます。

- ★ この USB メモリをパソコン本体に接続することにより、当マスターデータにて見積書の作成及び見積データの記録が可能です。  
見積データは当 USB メモリの「積算データ」フォルダに格納され他のセットアップパソコンによる可動も可能となります。

1) 「DataFolder のコピー」ボタンをクリックします。



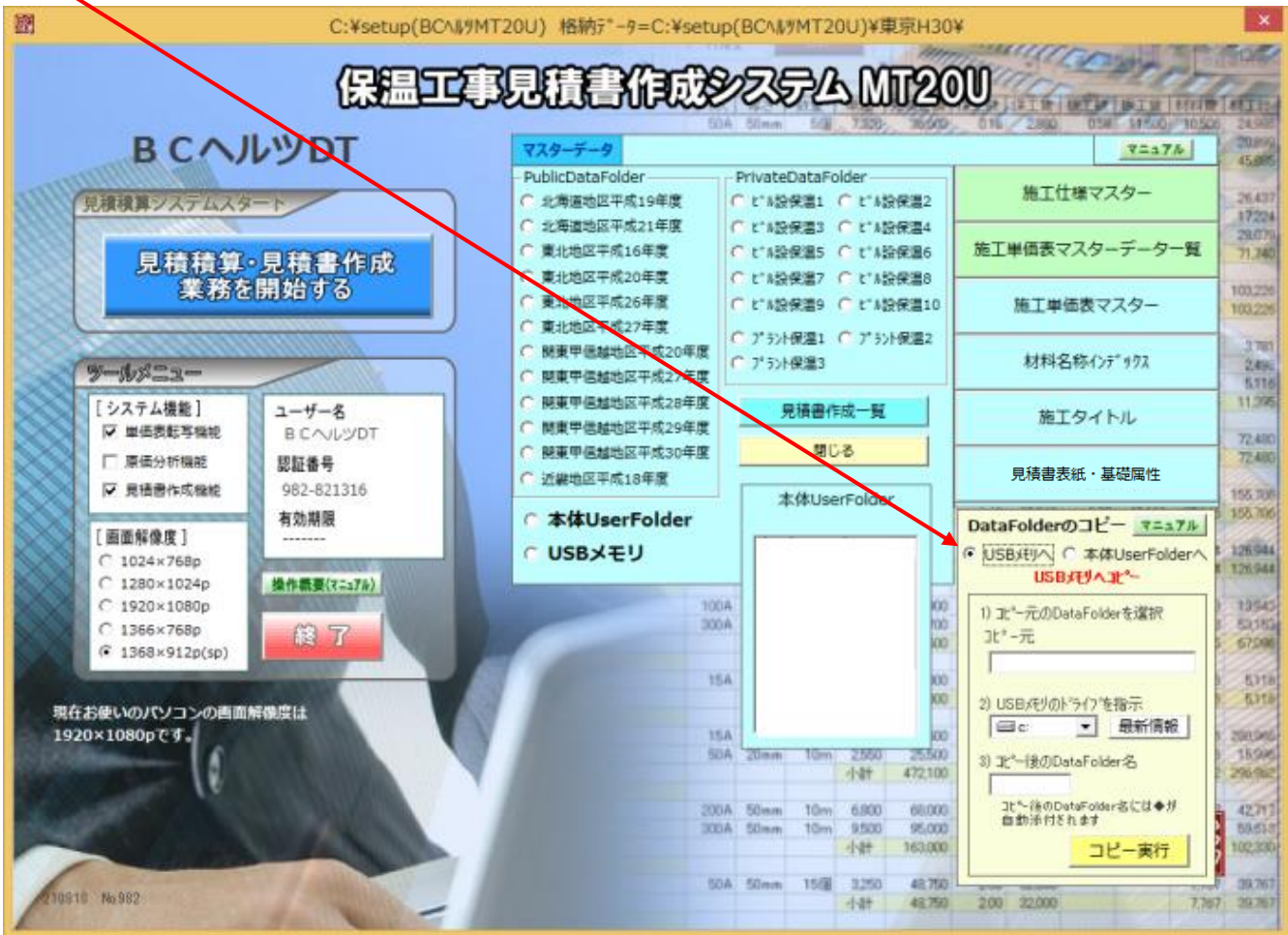
2) 「DataFolder のコピー」画面が表示されます。





3) 「USBメモリ」をONにします。

[TOP](#)



4) コピー元となるマスターデータのフォルダを選択します。





5) USB メモリのドライブを指示します。

DataFolderのコピー

マニュアル

USBメモリへ

本体UserFolderへ

USBメモリへコピー

1) コピー元のDataFolderを選択

コピー元

関東甲信越平成30年単価表

2) USBメモリのドライブを指示

g:

最新情報

3) コピー後のDataFolder名

コピー後のDataFolder名には◆が自動添付されます

コピー実行

6) USB メモリへのコピーのフォルダ名を入力後「コピー実行」ボタンを押すと数秒後で「コピー完了」の画面が表示されます。

DataFolderのコピー

マニュアル

USBメモリへ

本体UserFolderへ

USBメモリへコピー

1) コピー元のDataFolderを選択

コピー元

関東甲信越平成30年単価表

2) USBメモリのドライブを指示

g:

最新情報

3) コピー後のDataFolder名

大谷 2021

コピー後のDataFolder名には◆が自動添付されます

コピー実行

コピー後の DataFolder 名には  
◆が自動添付されます。

保温工事見積書作成MT20U

コピー完了しました。

OK

参考) USB メモリにコピーされた DataFolder は「USB メモリ」を ON にして USB メモリのドライブを指示すると画面に表示されます。  
この状態で表示の箇所(例では◆大谷 2021) をクリックするとこのマスターデータにて可動し、見積データも当フォルダに格納されます。

【北海道地区平成21年単価表】対応 C:\¥setup\BCヘルツMT20U

保温工事見積書作成システム MT20U

BCヘルツDT

見積算システムスタート

見積算・見積書作成業務を開始する

ツールメニュー

[システム機能]

単価転写機能

原価分析機能

見積書作成機能

[画面解像度]

1024×768p

1280×1024p

1920×1080p

1366×768p

1368×912p(sp)

ユーザー名

BCヘルツDT

認証番号

982-821316

有効期限

-----

操作概要(マニュアル)

終了

マスターデータ

マニュアル

PublicDataFolder

北海道地区平成19年度

北海道地区平成21年度

東北地区平成16年度

東北地区平成20年度

東北地区平成26年度

東北地区平成27年度

関東甲信越地区平成20年度

関東甲信越地区平成27年度

関東甲信越地区平成28年度

関東甲信越地区平成29年度

関東甲信越地区平成30年度

近畿地区平成18年度

PrivateDataFolder

ビル設備温1

ビル設備温2

ビル設備温3

ビル設備温4

ビル設備温5

ビル設備温6

ビル設備温7

ビル設備温8

ビル設備温9

ビル設備温10

プラント保温1

プラント保温2

プラント保温3

見積書作成一覧

マスターデータをUSBメモリへコピー

本体UserFolder

USBメモリ

USBメモリ再選択

USBメモリのドライブ

最新情報

d:

◆大谷 2021

USB見積書一覧

マニュアル

施工仕様マスター

施工単価表マスターデータ一覧

施工単価表マスター

材料名称インデックス

施工タイトル

見積書表紙・基礎属性

現在お使いのパソコンの画面解像度は1920×1080pです。

Copyright by BCヘルツ